

全火薬引報

第500号
 平成28年12月
 発行元 公益社団法人 全国火薬類保安協会
 電話 03(35553)8762
 郵便番号 104-0032
 東京都中央区八丁堀4丁目13番5号
 公益社団法人 全国火薬類保安協会
 発行責任者 佐久間 信彰
 www.zenkakyo-ex.or.jp

●平成28年度甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験の受験者数等について

平成28年度甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験は11月7日・8日、東京都千代田区日本教育会館で行われました。
 出願者数、受験者数は次のとおりです。

区 分	甲種製造保安	乙種製造保安	合 計
出願者数 (人)	148	65	213
欠席者数 (人)	14	4	18
受験者数 (人)	134	61	195

●会議等開催状況 (11月)

開催年月日	会 議 等 名 称	備 考
28. 11. 7～8	甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験 火薬類国際化対応委員会 貯蔵技術基準検討委員会	第 3 回 第 4 回
11. 14		第 4 回
11. 15		第 4 回
11. 29	JIS原案作成委員会	第 2 回

●平成28年9月の産業火薬類の生産、出荷(販売)、在庫量

	生産	出荷(販売)	在庫
産業用火薬類 (単位: t)	2,710	3,054	1,173
(前年同月比)	(94.7)	(100.6)	(98.7)

注：産業用火薬類は、火薬及び爆薬(武器用を除く)の合計(確報値)である。

●景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。

— 11月の月例経済報告 —
 内閣府は25日、月例経済報告等に関する関係閣僚会議に「11月の月例経済報告」を提出し、承認された。

(我が国経済の基調判断)

- 景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。
- ・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。
 - ・設備投資は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
 - ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
 - ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
 - ・企業収益は、高い水準にあるものの、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるもの、おおむね横ばいとなっている。
 - ・雇用情勢は、改善している。
 - ・消費者物価は、横ばいとなっている。
- 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあつて、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

(政策の基本的態度)

政府は、東日本大震災からの復興・創生に向けて取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。このため、「経済財政運営と改革の基本方針2016」、「日本再興戦略2016」、「規制改革実施計画」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2016」及び「ニッポン一億総活躍プラン」を着実に実行する。さらに、働き方改革に取り組み、年度内を目的に「働き方改革」の具体的な実行計画を取りまとめるとともに、デフレから完全に脱却し、しっかりと成長していく道筋をつけるため、「未来への投資を実現する経済対策」及びそれを具体化する平成28年度第2次補正予算を円滑かつ着実に実施する。

平成28年度補正予算等を活用することにより、平成28年(2016年)熊本地震による被災者の生活への支援等に万全を期すとともに、地域経済の早期回復や産業復旧に取り組む。

これらにより、好調な企業収益を、投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大を実現する。

日本銀行には、経済・物価情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。

講習会開催計画表

1. 講習会開催計画表は、都道府県協会からの報告に基づき作成したものです。
2. 講習会の確認及び細部計画は、各協会にお問い合わせ下さい。

1月講習会予定

保安手帳所持者(産火)講習	協会名	日程	開催地
	山形	13	新庄市
	岐阜	18	高山市
	山形	19	山形市
	埼玉	28	吉見町

従事者手帳所持者講習	協会名	日程	開催地
	山形	13	新庄市
	山形	19	山形市
	岐阜	25	高山市

再教育講習	協会名	日程	開催地
	福島	16	福島市
	山形	19	山形市
	長野	20	松本市
	福岡	26	福岡市
	東京	27	中央区
	宮城	31	仙台市
	岐阜	31	岐阜市

保安手帳所持者(煙火)講習	協会名	日程	開催地
	保安	28	吉見町

●平成28年火薬類関係事故について (11月30日現在)

[1] 総括表(取扱・種類別一覧表)

取 扱 項 目	種類別	事故件数	死亡者数		負傷者数	
			件数	計	人数	計
製 造 中	産 業 火 火	2	0	0	1-4	1-4
	が ん 具 煙 火	1	0	0	0-0	
消 費 中	産 業 火 火	4	0	0	0-0	3-14
	が ん 具 煙 火	44	0	0	3-11	
運 搬 中	産 業 火 火	0	0	0	0-0	0-0
	が ん 具 煙 火	0	0	0	0-0	
貯 蔵 中	産 業 火 火	0	0	0	0-0	0-0
	が ん 具 煙 火	0	0	0	0-0	
が ん ろ う 中	産 業 火 火	0	0	0	0-0	0-0
	が ん 具 煙 火	0	0	0	0-0	
そ の 他 事 故	産 業 火 火	2	0	0	1-1	1-1
	が ん 具 煙 火	1	0	0	0-0	
合 計	産 業 火 火	8	0	0	2-5	5-19
	が ん 具 煙 火	46	0	0	3-11	
		8	0	0	0-3	

[II] 事故一覧

(産業火薬) 製造中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
1	2月2日 13:40頃	千葉県 市原市	0	1-2	C	充填工室において、作業員5名が番号短管(自動車用緊急保安炎筒)に發炎薬を充填機により充填作業中に、充填槽付近にて発火し、充填槽内の發炎薬に着火し火災が発生し(発火後、約5分後に鎮火)、近傍で作業をしていた3名が負傷したものの。

◆忘れるな火薬の威力と危険性

◆ちよつと待て 手を出す前にひと呼吸 初心に戻って 安全発破

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
2	6月20日 9：20頃	福島県 西白河郡 西郷村	0	0-2	C	8：30作業を開始し、作業者は、混和機2台に原料(金屬酸化物、硝酸化合物)を投入し攪拌した。さらに混和機2台に原料(硝酸塩)を投入し、攪拌を開始した。攪拌中に混和機から大きな異音が聞こえた。直後、発火した。作業員2名が負傷した(1名：後頭部軽微な火傷(軟膏塗布)、1名：眼の違和感(目薬を点眼))。物的被害としては、混和機1台焼損、ドア及び窓のガラス多数箇所の割れがあった。
計		2件	0	1-4		

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
1	1月8日 10：35頃	千葉県 安房郡 鋸南町	0	0-0	C	採石場において、硬岩掘削の発破作業の振動により、風道鴨川保田線に長さ10mにおたひ土砂が流出した。また、それに伴いNTT及びKDDIの光ケーブルが断線した。(1/9に配線場所を変更して復旧済み。)発破作業1分前から上下線とも通行止にしていたため通行車両等に被害はなし。流出した土石撤去及び通行規制を行った。
2	1月18日 12：15頃	岩手県 陸前高田市	0	0-0	B	岩発破作業を行った際、防爆ネット(1.5m×1.8m)が発破振動で浮き上がったと同時に突風が吹いたことにより、発破によって裂けたネットの一部(1.5m×0.7m)が約52m離れた民家の屋根に飛び、互9枚及び雨樋1m程度を破損させたもの。同一事業所における1年以内の事故のためB級事故となる。
3	8月29日 16：10頃	山口県 山口市	0	0-0	C	道路改良工事(主要国道山口徳山線)において、法面岩盤掘削のため破砕を行ったところ、破砕した岩石及び土砂が落石防止用に設置してあった工事用矢板を破壊して一部風道へ流出し、通行止めとなったもの(8/29-9/6)。
4	11月22日 10：00頃	岩手県 遼寧市	0	0-0	C	採石場で発破を行ったところ、飛石が発生して、発破場所から350m離れた民家のトタン屋根を20cm×15cm破損させた。
計		4件	0	0-0		

その他事故

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
1	4月25日 14：50頃	高知県 須崎市	0	1-0	C	家族3人(父親、兄、女児)で釣りをしていた10歳の女児が、岸壁で「筒状」の物体(信号火せんと判明)を見つけて物体の下部を回していたところ、突然爆発して顔面負傷(顔面7針縫う裂傷、陥没骨折)したものの。
2	9月6日 16：10頃	愛知県 豊山町	0	0-1	C	航空機用の火工品を取り出す作業中に当該火工品が発火し、作業員1名が軽傷(左指熱傷及び挫創。縫合処置等は不要で塗薬の塗布のみ。)を負った。
計		2件	0	1-1		

(煙火)

製造中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
1	4月15日 14：10頃	福岡県 北九州市	0	0-0	C	煙火製造所において、煙火の日乾準備として、直射日光を避けるため資材倉庫にて星の選別作業を行っていたところ、ステンレス製のボウルに入れていた星から発火。星のほか資材(もみ殻、綿実、プラスチックケーシング等)着火。作業していた社長が直ちに消防に通報するとともに、全従業員に対して避難を指示。14時10分頃出火し、14時43分に消防により消火。資材倉庫(もみ殻等保管用)工室ではない。1棟全焼。
計		1件	0	0-0		

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
1	2月6日 20：45頃	山梨県 笛吹市	0	0-0	C	笛吹川河川敷左岸内にて石和温泉冬花火の打上が実施されていたところ、風にあおられた煙火の残り火が対岸の枯草に落下し、延焼拡大したものの。
2	6月2日 19：50頃	神奈川県 横浜市	0	0-0	C	横浜開港祭花火大会で、消費し終えた箱形煙火に着火し、台船上で10分間におたり燃焼した。花火大会は終了していたが、花火大会終了後に従事者が消火した。箱形煙火の消火は異常がなかったとみられるため、消費後の箱形煙火に他の煙火の火の粉が落ち、着火したことが考えられる。(調査中)

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
3	6月15日 20：35頃	静岡県 静岡市	0	0-0	C	水神社奉納花火大会において、スター方式で打ち揚げた雷粒(らいつぶ、爆音を出す薬包)1個が道路路上(消費場所から約55m離れた立入禁止区域)に落下し地上開発した。雷粒の着火線(1.8cm)に着火したのが、吸湿等の原因により、燃焼速度が遅くなり地上開発したものとと思われる。
4	6月25日 19：40頃	秋田県 由利本荘市	0	0-0	C	西日漁港まつりの煙火打揚現場から約600m離れた地点の林野(国有林)約10㎡を焼失。祭りや打ち上げられ開発した煙火の一部が風に流され、国有林に落下し、着火、延焼したものと推定される。火災は、当該祭りのために配置されていた消防団員によって消された。
5	7月7日 20：30頃	滋賀県 甲賀市	0	0-0	C	矢川神社七夕まつりにおいて、総数25本の発射煙火を順次消費する中で、以下の事故が発生した。(人的被害はなし) ①6本目、1,600g火薬量の煙火が、点火後従事者が保持する前にハネを起こした。 ②9本目、2,400g火薬量の煙火が、従事者の保持直後に手筒が斜めの状態でハネを起こした。 ③21本目、2,400g火薬量の煙火が、保持直後に斜めの状態でハネを起こし、詰め物(新聞紙等)や砂利が後方に飛び散った。予定する煙火4本を残したところで、従事者の判断により、その後の消費を中止した。 ※と共に筒の底が破裂し、火の粉が吹き出す状態のことで、手筒煙火の見せ場でもある。通常は従事者が手筒を垂直に保持した状態で起こるものである。
6	7月17日 20：16頃	愛知県 常滑市	0	0-0	C	常滑瀬田天区壬祭りににおいて、小型煙火を消費直後に開発した(過早発)。
7	7月22日 20：00～ 21：00頃	三重県 鳥羽市	0	0-0	C	・打揚煙火の残滓の落下により、消費場所から350m付近にいた観客(中学生)の衣服に穴があいたもの。当該観客が帰宅後、親族が気づいて、花火大会翌日(7/23)に主催者に連絡した。 ・7/26に、県港湾管理者が漂着した不発花火(打揚花火10号玉千輪の部品)2個を発見、回収し、花火大会実行委員会に持込んだ。
8	7月24日 20：40頃	北海道 七飯町	0	0-0	C	「大沼湖水まつり花火大会」における煙火消費中に、電気点火により台船から打ち揚げ予定だった煙火(2号玉スターマイン1発)が筒ばねを起こしたものの。
9	7月30日 19：00頃	福島県 いわき市	0	0-0	C	なごそ鮫川花火大会で、打ち上げたスターマイン用7.5cm玉2発が開発せずに落下したものの。打揚場所は、パークゴルフで利用される場所であり、大会翌日の朝にパークゴルフ利用者らがコースの整備(草刈り)をしていたところ、草むらから黒玉2発を発見したものの。煙火打揚中は、黒玉発生に気づかず、当日や翌日の片付け清掃時にも発見されなかった。
10	7月30日 20：30頃	福島県 福島市	0	0-0	C	ふくしま花火大会において、煙火の打ち揚げ中に、公園外縁部の下草に火の粉が燃え移って出火し、2箇所(5.6m×6.1m、15.2m×5.2m)の草が焼失したものの。打ち揚げを中止し、待機していた消防の消火活動により20時53分に消火した。
11	8月2日 20：37頃	岐阜県 下呂市	0	0-0	C	下呂おどり花火大会において、煙火打揚場所から北側約80m離れた下呂大橋歩道橋上(安全距離外)で見物していた女性のハンパツクワ内に燃え残りが入り、ハンパツクワ及び収容物が焦げたものの。
12	8月3日 6：00頃	福島県 北塩原村	0	0-1	C	動物駆逐用煙火(5連発煙火、中国製)を猿の追い払いのため、手持ち(素手、ホルダーなし)で使用していたところ、1～3発目が不発のまま、4発目が暴発し、左人差し指に軽傷(出血、火傷)を負ったもの。なお、当該煙火は、北塩原村が動物駆逐用としたもので、昨年度中に購入し、行政区長に配布したものである。村は、「駆除雷5発」は、経済産業省が事故多発を受けて注意喚起、販売店が自主回収していることは認識していたが、今回の製品は2012年6月以降に製造されたものであり自主回収品(2015年5月中国製)とは異なるかと判断し、配布した。
13	8月6日 19：20頃	東京都 板橋区	0	0-1	C	いたばし花火大会において、立入り禁止区域外の招待席で観覧していた女性の左側に、直径1.5cm長さ5cm程の円柱状の燃えかすが当たったもの。すぐに救護所の医師が診断したところ外傷はなかったが、本人がズキズキとヒリヒリした痛みが続き不安を訴えるため、消防へ相談し、救急車で帝京大学医学部附属病院へ搬送。病院では、痛みは続いているものの、外傷はなく検査は行わずに診察は終了。
14	8月7日 20：20頃	静岡県 浜松市	0	0-0	C	浜名湖上で行われた三ヶ日花火大会において、打揚煙火20号玉1個が上空で開発せず、打揚台船の近傍約20mの湖上に落下し、水中で開発したものの。

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
15	8月7日 20:50頃	長野県 千曲市	0	0-0	C	千曲川納涼煙火大会において、千曲川中州で煙火を打ち揚げたところ、打ち揚げ場所から約200m離れた中州の下水に煙火の火の粉が着火し、下水約3.515㎡が焼損したものの。
16	8月8日 20:20頃	滋賀県 大津市	0	0-0	C	2016びわ湖花火大会において、煙火(水中スターマイン)消費中、火の粉が飛散し、消費位置から約150m離れた防波堤上の刈り取った枯草に着火し、枯草約10㎡が焼失したものの。
17	8月10日 20:00頃	山形県 酒田市	0	0-0	C	特別養護老人ホームの夏祭りにおいて、煙火消費中、4号玉の一つが開発せずして消費場所周辺の水が張ってある水田に落下したものの。黒玉は、11、12日に捜索を行ったものの発見されていない。
18	8月11日 17:50頃	宮城県 東松原市	0	0-0	C	「宮戸夏まつり」(8/6開催)において煙火打揚を行った5日後(8/11)に、付近住民が煙火消費場所から130m離れた空地(私有地)から黒玉1個を発見したものの。
19	8月12日 11:00頃	鹿児島県 奄美市	0	0-0	C	8月12日(金)に大島支庁職員が名瀬港内にて海面に不発の煙火玉が浮いているのを発見したものの。8月5日(金)に名瀬港沖合にて打ち揚げを実施した際に発生した黒玉と推測される。
20	8月13日 6:00頃	岐阜県 中津川市	0	0-0	C	8月13日(土)の早朝に、関係者が清掃作業中に黒玉を発見したものの。前日、中津川夏祭り「おいでん祭」を実施しており、消費場所から100mの地点で発見した(安全距離は110m)。
21	8月13日 9:40頃	和歌山県 白浜町	0	0-0	C	8月13日に、病院敷地内において病院関係者によって黒玉が発見された。当該黒玉は、8/10に、発見場所から400m以上離れた白良浜で開催された「南紀白浜花火大会」で消費予定だった水中煙火(3号玉1個)であることが判明したため、消防が水に入れて白良浜消防署に運んだ後、打掃業者が回収した。なお、白良浜周辺に流れ着いた黒玉を、何者かが病院敷地内まで運んだものと考えられる。
22	8月13日 19:25頃	神奈川県 横浜市	0	0-0	C	マリナーでの催し物の開催時に煙火消費をしていたところ、消費終了から10分後に消費場所から120mの地点の空き地(安全な距離外)の雑草に着火していることを発見し、主催者及び煙火業者が消火器で3分後に鎮火させた。焼損面積は数平方メートル程度。
23	8月13日 20:25頃	大阪府 大阪市	0	0-0	C	舞洲スボーツアリーナにおいて、フライング出演用の打揚煙火(2.5号玉を計384個)を消費中に、打揚場所東側安全距離内の枯草に星が落下し、2箇所(合計12㎡)が焼失したものの。火は、煙火業者が放水車及び背負い式消火水のように消火した。
24	8月13日 21:00頃	愛媛県 西予市	0	0-3	C	小型煙火消費中、5台目(36連発型)が地上で開発し、消費場所の北側(規制区域外)の見物客に星が当たり3名が負傷(いずれも軽傷。医療機関での治療は不要。)したものがついで、飛散した星により駐車していた車に傷がついた。
25	8月13日 21:10頃	北海道 石狩市	0	0-0	C	ライオンゾウサンロケットフェスティバルにおいて、スターマイン2号玉の火の粉が立入禁止区域内に落ち、草地(雑草)の一部を焼いたものの。(4カ所計94.95㎡)
26	8月14日 19:58頃	栃木県 茂木町	0	0-0	C	花火大会において、地割れ花火(地面で開花させる花火)5号10発を消費中に、燃えかすが入り禁止区域内の下水に着火し、260㎡を焼失したものの。主催者従業員が消火活動を行い、火災覚知から13分後に鎮火を確認した。
27	8月14日 20:30頃	鳥根県 安来市	0	0-1	C	やすぎ月の輪祭花火大会において、煙火消費中、立入禁止区域内に自生する枯れ草に煙火の火の粉が落ち、1.5㎡を焼損したものの。また、立入禁止区域内に侵入して見物していた者が火災を発見し、火たきたきによる消火作業中に倒壊に落ち、倒壊した軽傷を負った。
28	8月14日 20:38頃	愛媛県 松山市	0	0-0	C	「第51回松山まつり」の最終イベントである煙火の花火が保安距離(65m)を超えて飛散(80m)し、小山斜面に落下、落ち葉等に着火し燃え広がり、落ち葉約2㎡を焼損したものの。
29	8月15日 20:00頃	大阪府 堺市	0	0-0	C	花火大会において消費した煙火のいすれかが、消費場所周辺の竹林へ落下し、枯葉に着火し、雑草等約500㎡を焼損したものの。
30	8月16日 9:00頃	福井県 敦賀市	0	0-0	C	「第67回とうろう流しと大花火大会」の準備のため、当日9時頃に、煙火打掃業者が、煙火に係る電気導火線の導通試験を実施しようとしたところ、スターマイン(2.5号玉連続速射1組)15発を誤って打ち揚げたものの。
31	8月20日 19:30頃	神奈川県 川崎市	0	0-0	C	煙火消費中、19:30頃に、消費済みの箱形煙火のスターマイン(玉径70mm・23連、箱寸法:400mm×400mm×480mm)に着火し、周囲の同型の煙火3台にも延焼した。煙火業者が10数分後に水消火器で消火したが、19時55分頃(終了5分前)にも再着火し、花火大会終了後に鎮火させた。(消防は火災認定なしと判断。)また、その他、低空開発が発生した。

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
32	8月20日 20:40頃 21:30頃	山形県 鶴岡市	0	1-2	C	「赤川花火大会」で煙火を消費中に、観客に残渣及び破片が落下して3名が負傷。強風により観客席に落下したものと推定される。(8号玉が原因で軽傷者が発生したのが20:40頃で、20号玉が原因で重傷者が発生したのが21:30頃である。)
33	8月20日 22:00頃	福岡県 北九州市	0	0-0	C	「まつりみなみ2016」において、20時に煙火消費を開始し、21時5分に終了した。同日22時頃、打ち上げ場所から東に約40mの竹林で約5㎡を焼損。さらに、21日0時55分頃、同一竹林内の別の箇所(200㎡及び3㎡焼損し、同日2時5分消火)。
34	8月26日 19:20～ 19:30頃	神奈川県 平塚市	0	0-2	C	「ひらつか花火大会」において、煙火の破片が落下し、見物客2名が負傷。70代女性が破片の落下により顔面を切り3線縫い、男子児童の目に燃えかすが入ったものの。
35	8月27日 20:20頃	福島県 いわき市	0	1-0	C	得風園夏祭りの最後の打揚の際、乱玉(小型煙火)の導火線に点火して避難途中、異常飛翔により曲がって飛んだ煙火が点火者に当たり、負傷(鼻骨折)したものの。
36	8月27日 20:30頃	福岡県 福岡市	0	0-0	C	学校の夏祭りにおいて、20時15分煙火打揚げを開始し20時21分頃打揚げを終了。同日20時30分頃打揚場所から、保安距離内であった南側に約20mの空き地(雑草地)で出火を確認。直ちに学校関係者及び煙火業者が消火器(3本)による初期消火を実施したが初期消火では鎮火しなかった。その間、学校側が白消火器に連絡。消防車が出勤、消火にあたり、21時16分鎮火した。焼失面積は8㎡。
37	9月11日 9:00頃	愛知県 豊橋市	0	0-0	C	9/10(土)に、花火大会において打揚煙火(号砲15段雷)を消費中、4発目を打ち揚げたところ開発しなかった。すぐに周囲を捜索したが、迎りが暗くなり確認が難しかったため、捜索作業を翌朝に延期したところ、翌日(11日)、捜索作業開始前に市民が安全な距離外で黒玉を発見し警察に通報した。警察からの連絡を受けて主催者が黒玉を受け取り、煙火業者が回収・処分した。
38	9月13日 20:05及び 20:35	長野県 阿南町	0	0-0	C	打揚煙火2個(20:05発生:8号、20:35発生:5号)が開発しないまま、黒玉となり地上に落下したものの。
39	10月1日 19:05頃	愛知県 新城市	0	1-1	C	手筒煙火(3,200g)を2本同時に消費中に、1本が破裂し、作業者2名が負傷したものの。消費業者が重傷(右上肢熱傷、右側胸部熱傷)、点火業者が軽傷(顔面熱傷、頸部熱傷)。当該手筒煙火に点火し、初めのうちは炎の噴出が少なく様子うかがっていたが、その後、炎が噴きだしたはじめ通常通り炎が安定してきたので、消費業者が手筒を抱え垂直になるように抱え上げようとしたところで突然破裂し、消費業者と点火者の2名が負傷した。手筒の構造は通常のもとは違いはなく、てん業は消費業者本人が実施した。
40	10月8日 20:20頃	埼玉県 鴻巣市	0	0-0	C	第15回さかづき花火大会で四尺玉打ち揚げの際、筒はねと推定される事象が発生。
41	10月16日 14:21頃	愛知県 安城市	0	0-0	C	打揚煙火(3号玉)を単発打揚消費中、15発打揚予定の9発目に、火種(ロー火:火薬を水等で練って小さな棒状に形成した火薬の塊)が煙火玉の発射と同時に筒の外へ飛びだし、消費場所周辺の田の切断薬約2,800㎡を焼損したものの。
42	10月22日 19:50頃	愛知県 名古屋	0	0-0	C	煙火を消費中、台船に装備されているアンカーワイヤー巻取り機の保護用シート及びスライダボックスを焼損した。当該台船上では2.5～3号打揚煙火、小型煙火等を消費しておいて、全て電気点火で、操作は別の台船上で行っていた。事故発生は煙火消費の終了間際であり、連続的に消費が進んでいたため、プログラム終了するのを待って、従事者が当該台船に乗船し消火活動を行った。
43	11月6日 15:03頃	愛知県 岡崎市	0	0-0	C	例大祭において煙火(打上煙火、3号玉)15個を消費中、最後の3個を打ち上げた際、煙火の火の粉が田に落下し、稲わら等約22.5㎡が焼損したものの。
44	11月26日 17:50頃	長野県 安曇野市	0	0-0	C	結婚式会場において、演出効果として煙火の消費中に、火の粉の一部が隣人所有の塩化ビニル製屋根に付着し、直径5mm～1cm焼損した。

その他事故

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
1	3月29日 9:53頃	宮城県 宮崎市	0	0-0	C	宮崎市内の花火大会で不発となった小型煙火の中空紙パイプ1本(消費場所まで水を掛け等の処置済み)を、外装の段ボール等とともにドラム缶で焼却していたところ、小型煙火の構成部品(星)が飛散し、焼却場所から約30m離れた山林の斜面中腹に着火し、約14a延焼したものの。
合 計			0	1	0-0	

(がん具煙火)
消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	5月22日 16:15頃	鳥根県 出雲市	0	0-0	C	中学生3人でロケット花火20個を打ちあげていたところ、風に乗って花火が河川敷の枯草に落ちて着火し、燃え広がって枯草908㎡が焼失したものの。
2	8月6日 20:15頃	岐阜県 多治見市	0	0-1	C	2歳女児が、手持ち噴出花火を持って遊んでいたところ、吹き出している火花を自分の胸元に向けたため、衣服が燃え胸部を火傷したものの(軽傷:胸部20%のⅡ度熱傷)。
3	8月11日 15:30頃	岡山県 井原市	0	0-0	C	消費者が自宅で、スズメを追い払うため、がん具煙火「春雷」を使用し、3発を水田に向け、1発を自宅西側の山林擁壁に向けて消費したところ、山林擁壁に向けて消費した煙火から爆音がしなかつたため不審と考えられる。これらの消費から約3時間後に、消費方向付近の自宅物置から出火したものの。(人的被害はなし。)
4	8月12日 4:47頃	大阪府 泉大津市	0	0-0	C	大学生4人で、がん具煙火(打揚花火)で遊んでいたところ、周囲の雑草に燃え移り、雑草約6㎡焼損したものの。当事者によりバケツを使用し、海水で消火を行った。
5	8月13日 19:58頃	大阪府 阪南市	0	0-1	C	大学生数人ががん具煙火を消費中、地上に置いた打揚花火が風にあおられ転倒し、横方向に飛翔した火花が衣類に着火し、1名が熱傷を負ったものの。
6	8月14日 21:45頃	長野県 長野市	0	0-0	C	篠ノ井橋北側の千曲川の上流(左岸)西約10m付近で、がん具煙火(連発打上花火)を消費し、発射された火の粉が堤防法面の枯草に着火・燃焼し、153.8㎡が焼失したものの。
7	8月21日 19:53頃	大阪府 泉大津市	0	0-0	C	手持ち花火で遊んでいた男子高校生が、打揚が終わったと思い、当該花火を下に向けたところ、残っていた2発が発射し雑草等に燃え移り、約500㎡焼損した。
8	9月24日 19:40頃	山口県 和木町	0	0-1	C	祖父母宅の庭で4歳男子が両親らとがん具煙火(手持ち花火)を消費中、火のついた花火を振り回したことにより、履いている長靴の中に約5cmの花火の灰が入り軽傷(Ⅱ度熱傷)を負ったものの。
合計		8件	0	0-3		